

課題番号	研究課題名	研究代表者	評価結果
15106002	レーザー励起テラヘルツ波の高度応用	萩行 正憲 (大阪大学・レーザーエネルギー学研究センター・教授)	A+
<p>本研究は、レーザー励起テラヘルツ分光における新しい分光技術を世界に先駆けて開発するとともに、それを用いて生化学などの物理、化学、生物の境界領域の分野への応用展開をしており、十分な成果を挙げていると高く評価できる。「テラヘルツ波発生メカニズムの解明と偏波制御テラヘルツ発生素子の開発」を始め5つの研究項目が設定されており、その成果の一部は本研究の開始以前に得られていたものもあるが、研究を効率よく実施し、目的を十分達成している。</p> <p>中間評価における指摘事項にも研究代表者の得意分野を生かす工夫がなされ、当初の目的を十分達成している。本研究成果は、生化学の新しい分野の開拓を始め、今後の種々の物性研究など広範な領域への応用の可能性を示した優れたものであると言える。</p>			